



我孫子市 食育だより



～おいしく楽しく食事をしよう！～

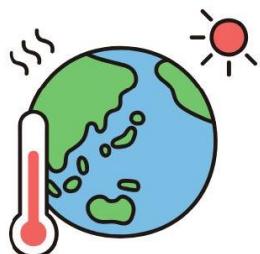
近年、地球温暖化が進み、だんだんと野菜やお米を育てることが難しくなってきており、環境にやさしく、そしておいしく、安定して農作物を供給できるシステムが注目されています。食育だより第42号では、我孫子のおいしい未来をつくる「みどりの食料システム戦略」と我孫子市の取り組みについてお伝えします。

地球もニコニコ☺「みどりの食料システム戦略」ってなに？

「みどりの食料システム戦略」とは、未来の食料を環境にやさしく、そしておいしく、安定して供給できるシステムに変えていくための国の計画のことです。農産物や食品の生産に使う資材・エネルギーの調達から生産、加工、流通、消費までの取り組みを環境にやさしいものに変えていこうとしています。

この法律ができた背景

地球がだんだん暑くなったり、雨の降り方が変わってきたりして、野菜やお米を育てることが難しくなってきています。そのため「環境にやさしい農業」を広げ、未来のおいしい食べ物を守ることが必要です。



また、高齢化や後継者不足により、農業者が少なくなってきたことも大きな課題になっています。このことにより、「環境にやさしくて、少ない人数でもできる新しい農業」を広げていくことが求められ、そのためにできた法律です。

我孫子のスマート農業

我孫子市でも人手不足や収穫量を増やしたいなどの課題に対応するために、ロボットやAIなどを使うスマート農業技術が導入されています。

例えば、無人で土を耕したり、肥料や種を撒いたりすることができる「自動走行トラクター」や、農作物の状態から必要なところにだけ肥料や農薬を撒く「農業用ドローン」などがあります。



脱炭素の野菜とは？

「地球にやさしい育て方」で作られる野菜のこと、「肥料や農薬を減らす」、「水管理を効率よくする」、「地元で採れたものを地元で食べる」などがあります。これによって、CO₂を減らすことができます。我孫子市の小中学校の給食にも、こうした工夫が取り入れられています！

これらを活用することで、作業時間が短くなり人手不足の対策になるだけではなく、必要なところにだけ撒くことで無駄な肥料や農薬が減り、環境への影響も少なくすることができるうなあ～



エコで地球にやさしい「あびこエコ農産物」



我孫子市では、千葉県が決めた基準よりも肥料と農薬の量を20%以上少なくして作られた「あびこエコ農産物」を認証しています。このマークがついた野菜は、環境にやさしい農産物です。

現在、「**あびこエコ農産物応援キャンペーン**」を実施中！左のシールを20枚集めて応募すると、抽選でエコ農産物などが当たります。

（令和8年2月28日まで）この機会に、簡単なエコの取り組みから始めてみませんか？あびこエコ農産物をたくさん食べて、地元の農家さんと環境にやさしい農業を応援していきましょう！

我孫子の農産物がみんなの給食へ！

我孫子の農産物が学校給食に届くまで

我孫子市では、農産物の地産地消を推進しており、学校給食においても食育の観点から我孫子市産の「お米」、「野菜」の供給を進めています。

○**お米** 農協から我孫子市産米を全量提供しています。

○**野菜** 市内小中学校で月2回程度「我孫子産野菜の日」を設定しており、その日は我孫子産農産物を積極的に使用しています。

使用されている農産物は「あびこエコ農産物」やスマート農業で作られたものもあります。



地産地消に取り組み、地元の農家さんを応援！

地元の野菜は新鮮でおいしい！近くで採れるから、運ぶときに出るCO₂も少くなり、また、子どもたちが地元の農業を知るきっかけにもなっています。「給食」を通して「食べること」と「環境を守ること」が繋がっています！

我孫子の野菜を食べて未来の農業を守ろう！

- 給食のとき、「今日は我孫子産野菜の日だ！」と思って食べよう！
- 直売所で「あびこエコ農産物マーク」を探してみよう！
- 食べものを残さず食べることも、地球を守る第一歩！
- 栄養いっぱいの旬の野菜を選んで季節を感じよう

我孫子の野菜を食べることはおいしいだけではなく、地産地消にもなり、環境にもやさしい取り組みです。

みんなが食べることで、「未来の農業」を守ることにも繋がります！

冬におすすめの旬野菜



はくさい



ほうれんそう



だいこん



ねぎ



あびこ旬菜カレンダー



《問い合わせ》 食育だより：我孫子市健康づくり支援課 電話 04(7185) 1126

みどりの食料システム戦略：我孫子市農政課 電話 04(7185) 1481